

⑬ 日本国特許庁(JP)

⑭ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報(U) 昭62-125587

⑤ Int. Cl. <sup>4</sup>	識別記号	庁内整理番号	④ 公開 昭和62年(1987)8月10日
A 63 H 3/16		6822-2C	
// A 63 F 9/12		8102-2C	
A 63 H 33/10		6935-2C	審査請求 未請求 (全 頁)

⑥ 考案の名称 動物の組み合せ玩具

⑦ 実 願 昭61-11681

⑧ 出 願 昭61(1986)1月31日

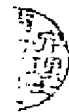
⑨ 考 案 者 山 田 敏 泰 浜松市寺島町200番地 株式会社河合楽器製作所内

⑩ 出 願 人 株式会社河合楽器製作 浜松市寺島町200番地  
所

⑪ 代 理 人 弁理士 真田 真一



明 細 書



1. 考案の名称

動物の組み合わせ玩具

2. 実用新案登録請求の範囲

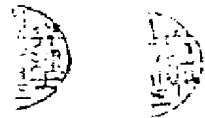
狐，カンガルー，犬，猿などの姿を模した何種類かの動物玩具をそれぞれ複数の部分に分割し、各分割面には磁石片または鉄片などの吸着体を埋設してなる動物の組み合わせ玩具。

3. 考案の詳細な説明

( 考案の目的 )

この考案は何種類かの動物の胴体と頭，前部胴体と後部胴体または胴体と尾などを組み合せて遊ぶようにした動物の組み合わせ玩具に関する。

動物をかたどつた玩具は種々みられるが、殆んど一種類の動物を対象とし、これを歩かせるか、首振りさせるか、または太鼓などの楽器を演奏させるかなど、動物に動作させることを狙いとしたものが多く、何種類かの動物の体をそれぞれ複数の部分に分離し、その分離されたものの中から適切なものを二三選んでつなぎ合せ、



一つの動物を完成させてその全体的な姿を幼児に覚え込ませるようにした玩具は今のところ見当たらない。

そこで、この考案は何種類かの動物玩具の分離された多数の部分の中から適切な部分を選んでつなぎ合せて一つの動物の姿を完成させ、その全体的な姿を遊びながら幼児に認識させるようにすることを目的とする。

#### （考案の構成）

上記目的のもとに、この考案は狐、カンガルー、犬、猿などの姿を模した何種類かの動物玩具をそれぞれ複数の部分に分割し、各分割面には磁石片または鉄片などの吸着体を埋設したことを特徴としている。

#### （実施例）

図面参照の上この考案の実施例について説明すれば、第1図においてAは1種類の動物例えば狐を模した木材または合成樹脂からなる動物玩具であつて、四肢および尾を含めた胴体部1と首部を含めた頭部2とに分離されており、胴



体部 1 の首根部に当たる分離面 1 a には磁石片または鉄片からなる吸着体 3 a が埋設され、これに対向する広さ、寸法の等しい頭部 2 の首部分離面 2 a には胴体部 1 側の磁石片と極性を異にした磁石片または鉄片からなる吸着体 3 b が埋設されている。

この場合、一方の吸着体 3 a または 3 b を鉄片とすれば、他方の吸着体 3 b または 3 a は磁石片とすることは勿論である。

そこで、互いに分離された胴体部 1 と頭部 2 の向きを整えて、それぞれの分離面 1 a, 2 a を当接させれば、そこに埋設された吸着体 3 a, 3 b が吸引し合つて第 2 図のように一匹の狐の姿が完成される。

第 3 図はカンガルーに模した動物玩具 A を示すもので、前記のものと同様に分離面 1 a と 2 a で胴体部 1 と頭部 2 の二つの部分に分割されていて、各分離面 1 a, 2 a には上記吸着体 3 a, 3 b が埋設され、これらの吸着体 3 a, 3 b によつて胴体部 1 と頭部 2 とは図示のように結合



され、カンガルーの姿を呈している。

このように胴体部 1 と頭部 2 との二つの部分に分割された、その他犬，馬，牛，羊，象，猿など何種類かの動物玩具 A が組として構成される。

その使用に当たつては、上記何種類かの動物玩具 A の胴体部 1 と頭部 2 とをばらばらに混ぜておいて、使用者（幼児）はそこから試行錯誤しながら適切な胴体部 1 と頭部 2 を選び出し、両者を分離面 1 a，2 a でつなぎ合せて各動物の姿を完成させる。

なお、上述の例では胴体部 1 と頭部 2 の部分で分割させた動物玩具を示したが、その分割位置は胴体部 1 の中央または尾の付け根のところなどでも差支えなく、また、分割する部分は二でなく、三つ，四つの部分に分割するようにすれば、その組み合わせに一層の興味をそそることになる。

（考案の効果）

以上のようにこの考案によれば、何種類かの



動物玩具の分割された多数の部分から試行錯誤しながら適切な部分を選んで各動物を完成させるので、幼児に組み合わせの苦心と興味を持たせることができ、しかも遊びながら動物の姿を自然に覚えさせることができ、幼児教育に役立つものである。

#### 4. 図面の簡単な説明

第1図は狐を模した動物玩具を分離させた状態の斜視図。

第2図は上記のものを結合させた状態の斜視図。

第3図はカンガルーを模した動物玩具の側面図。

図中	1 … 胴 体 部	1a … 分 離 面
	2 … 頭 部	2a … 分 離 面
	3a, 3b … 吸 着 体	A … 動 物 玩 具

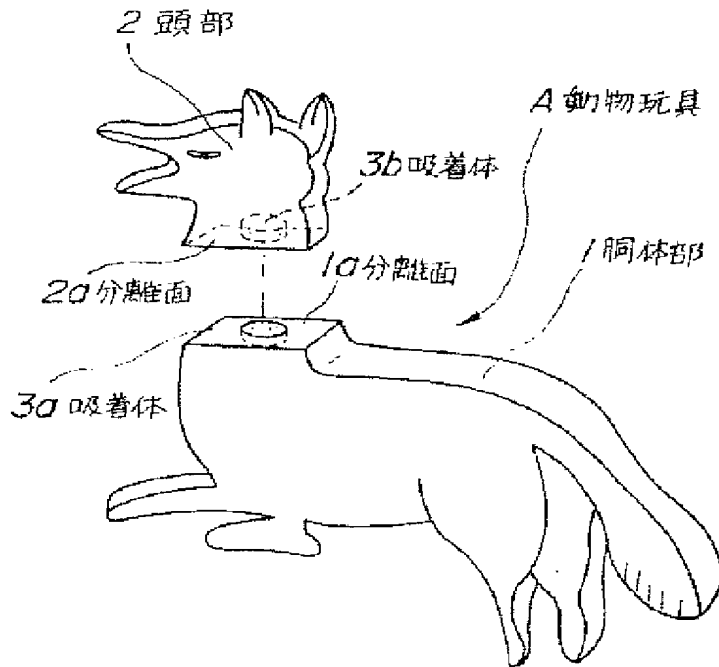
実用新案登録出願人

株式会社 河合楽器製作所

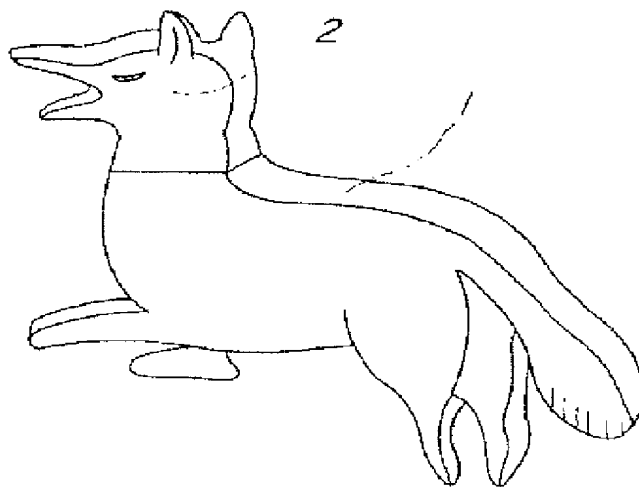
代 理 人

真 田 真 一

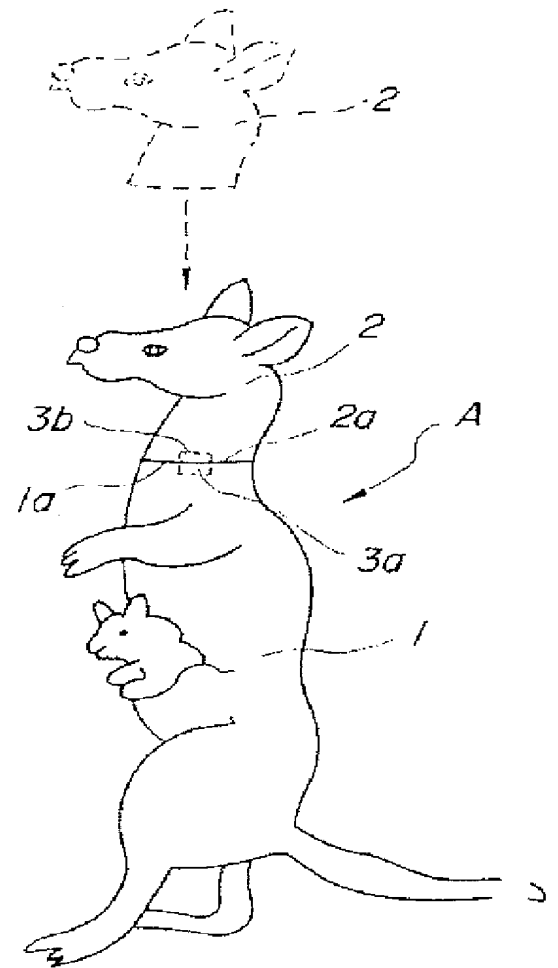
第 1 図



第 2 図



第 3 図



実用新案 登録出願人

株式会社 河合楽器製作所

代理人

真田 真一 945